

ミヤマアワガエリ

Phleum alpinum L.

イネ科

石川県カテゴリ

絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリ

該当なし

選定理由

高山帯のせまい範囲に生育環境に限られる。(現況:RO)

形態

高さ25~50cmの多年生草本、根茎はあまり伸びず叢生する。短い円筒形の花序に密に小穂をつける。

国内分布

北海道、本州(中部)。

県内分布

白山高地区。白山では本峰周辺の標高の高い地域にのみ分布し、別山、三ノ峰など周辺の山岳にはみられない。

生態など

多年草。種子による繁殖力は強く、新しく生じた裸地によく生える。花期は7~8月。

生育環境

高山帯の砂礫地や低茎草原。

危険要因

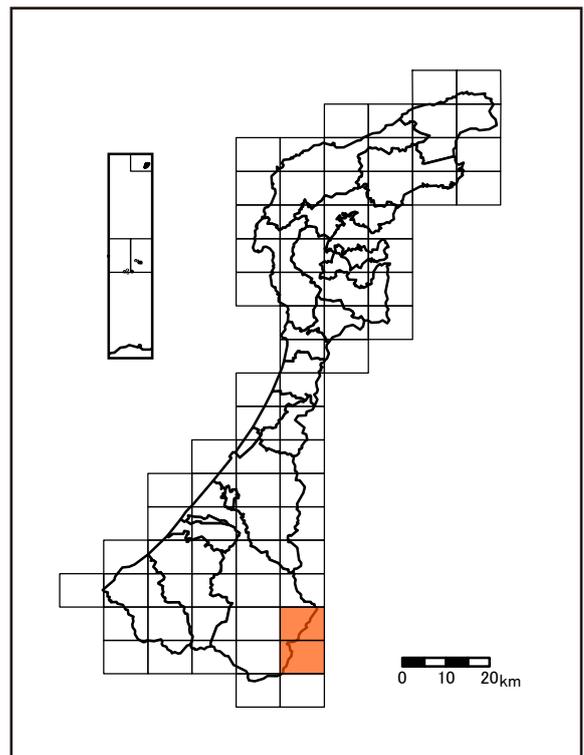
自然遷移、火山噴火。白山の高山植物の中ではとくに本峰周辺の高標高地に分布域が限られ、地球温暖化による気候や植生環境の変化の影響を受けやすいと考えられる。また、南竜ヶ馬場では同属の外来種オオアワガエリが近接して生育しており、交雑が懸念される。

特記事項

自生地はすべて白山国立公園特別保護地区内にある。
石川県白山自然保護センター(編).1995. 白山高等植物インベントリ調査報告書. 石川県白山自然保護センター。



白井伸和・2000年7月31日



県内の分布